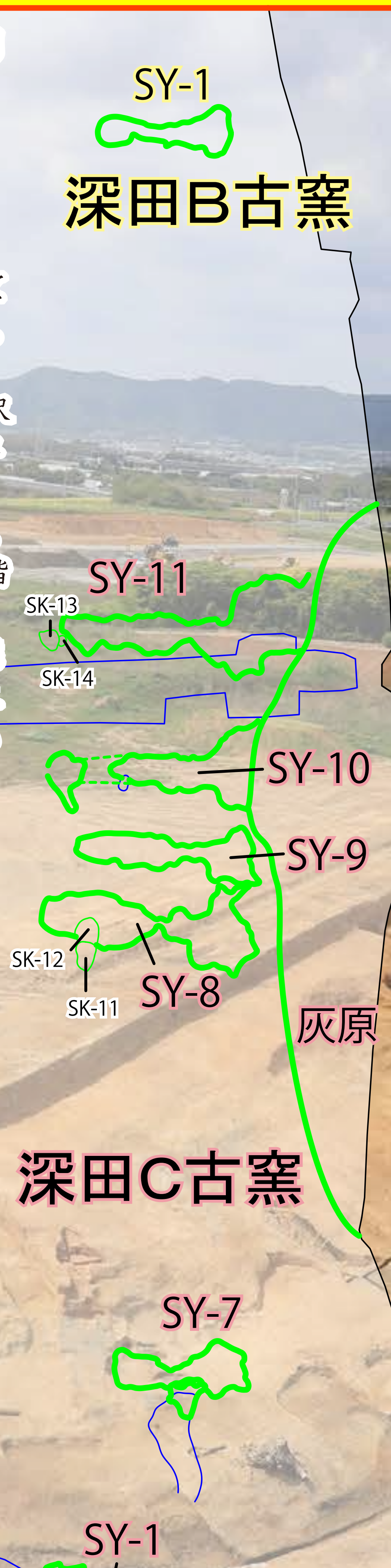
深田古窯址群について

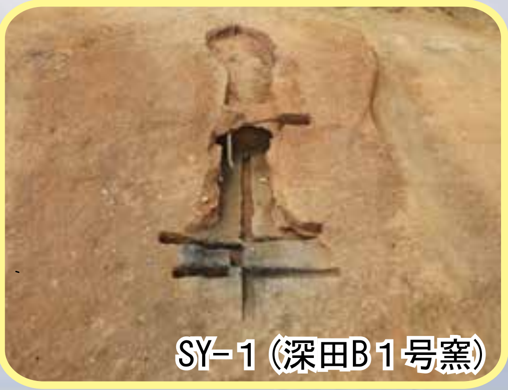
現在、工業用地造成に伴い、深田B～G古窯の発掘調査を順次行っています。今回は、昨年11月から現在まで調査を行っている深田B·C古窯に関して報告します。

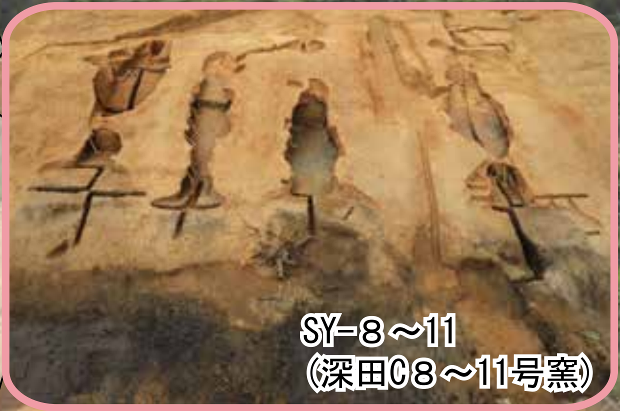
深田古窯址群は、静岡県湖西市から豊橋市にかけて広がる湖西古窯跡群に属します。湖西古窯跡群では、6～9世紀ころに須恵器の生産が行われていました。窯跡数は湖西市内では約200地点、1000基以上が想定されており、豊橋市側でも約50地点で存在が確認されています。製品は、関東·東北から関西まで広く流通しました。

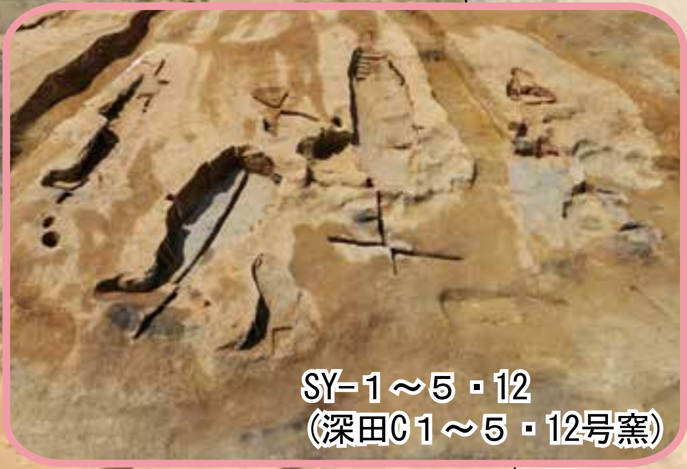
今回の調査では、計13基の窯跡が見つかりました。内訳は7世紀末から8世紀初めごろの窯跡が8基、8世紀後半の窯跡が3基、現在検証中のものが2基です。窯跡は非常に残存状態がよく、天井部が残るものも確認できました。また、湖西古窯跡群の特徴的な構造とされる煙道部の階段構造が、豊橋市内では初めて確認できました。

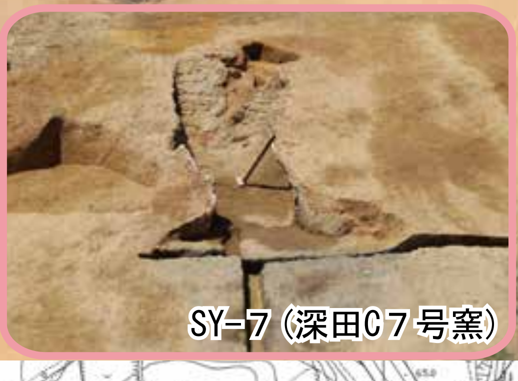
一度の調査でこれほど多くの窯跡が、これほど良い状態で見つかることは非常に珍しく、窯跡の構造を検証するうえで非常に貴重な調査となりました。今後は、灰原の調査も行う予定です。

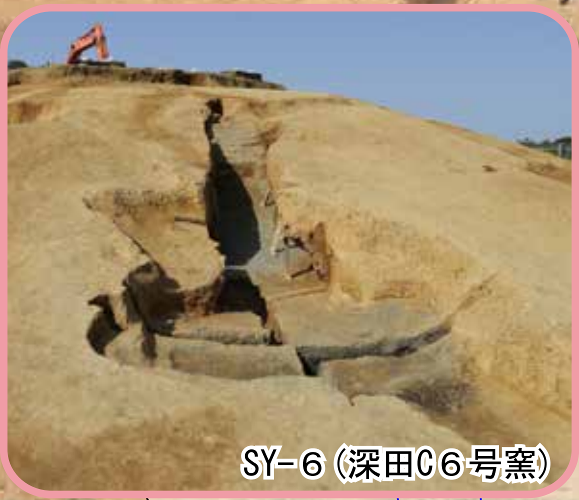

SY-1
深田B古窯
SY-11
SK-13
SK-14
SY-10
SY-9
SK-12
SK-11
SY-8
灰原
深田C古窯
SY-7

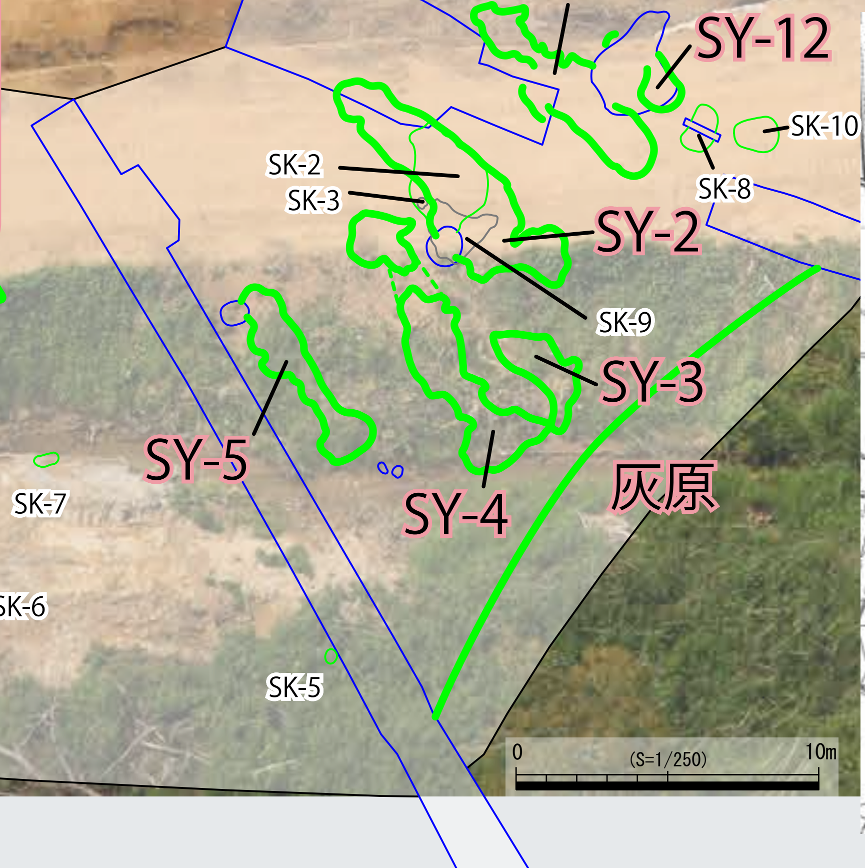

SY−１（深田B１号窯）

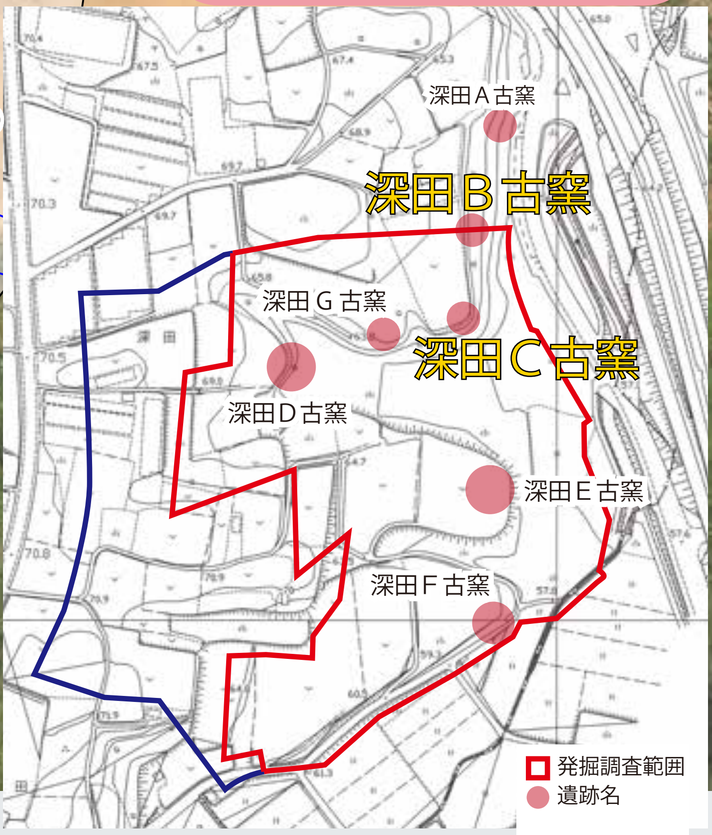

SY−８～11（深田C８～11号窯）


SY−１～５・12（深田C１～５・12号窯）


SY−７（深田C７号窯）


SY−６（深田C６号窯）


SY-1
SY-12
SK-10
SK-8
SK-2
SK-3
SY-2
SK-9
SY-3
SY-6
SY-5
SY-4
灰原
SK-7
SK-6
SK-4
SK-5
0
(S=1/250)
10m


深田A古窯
深田B古窯
深田G古窯
深田C古窯
深田D古窯
深田E古窯
深田F古窯
🟥 発掘調査範囲
● 遺跡名